

— “感動”が人をつくる —

Culture Niigata

新潟文化情報誌
カルチャーにいがた

2025.03-05
Vol.122



NEXT STAGE

— 情熱の行方 —

Noism1 舞踊家 樋浦 瞳

| 新潟イベント情報

| 親子で楽しもう

| シリーズ URAKATA 

カルチャーにいがたHPはこちら ▶



NEXT 情熱の行方 STAGE

これからの舞台芸術を担う、アーティストを紹介する「NEXT STAGE」。今回は新潟市出身で現在、新潟を拠点に活動するNoism Company Niigataに所属し、Noism1の舞踊家として活躍する樋浦瞳さん。今年3月8日(土)、9日(日)、りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館で開催予定の「Noism2 定期公演 Vol.16」では振付家デビューを果たす。舞踊とその公演への思いなどを聞いた。

舞台上に広がる景色が一瞬のご褒美
その瞬間に出会うため日々研鑽を積む

Noism1 舞踊家
樋浦 瞳

Akira Hiura

子どもの頃からダンスに夢中

—樋浦さんがダンスを始めたきっかけは？

4歳から通い始めた五十嵐瑠美子洋舞踊研究所(現・五十嵐生野モダンダンススタジオ)です。といっても、小さい子のクラスは振付ではなく、ボール遊びや縄跳び、リズム遊び、変身遊びなど遊びが中心。そこで体を一杯動かす楽しさを知った気がします。

—中学からダンス強豪校、新潟明訓中学校・高校へ進学。やはりダンス部へ入るためだったのでしょうか？

モダンダンス教室には引き続き通っていたのですが、絵を描くのも好きだったので、中学校では美術部でした。ダンス部は高校からです。

—明訓高校ダンス部で思い出に残っていることは？

作品づくりのため、みんなでよく意見を出し合い、振付を考えたりしていたのですが、顧問の佐藤菜美先生(現・新潟青陵大学准教授)がかけてくれる何気ない言葉によってどんどん良くなっていきます。先生の感性にいつも刺激を受けていました。

—素敵な先生との出会いもあったんですね。そして卒業後、筑波大学体育専門学群に進学されます。

ダンスを続けられる大学に入りたいと思い選択し

ました。実は高校ダンス部顧問の母校なんです。憧れの先生が通った景色を見たかったという思いもありました。

ある振付家との出会い もらった言葉に覚悟を決めた

—大学ではどんな学生生活を送っていたのでしょうか。

体育専門学群は体育の先生やプロのスポーツ選手になりたい人が集まっていました。そんな人たちと一緒にサッカーや柔道の授業を受けるので、毎回、体が壊れそうでした(笑)。私は大学でもダンス部に所属し創作活動に力を注いでいました。

3年からは振付家としても活躍されている平山素子先生の研究室に入り、ダンサーが体のコンディションを整えるためのメソッドなどの研究をしていました。

—卒業後はどのように考えていたのでしょうか？

当時はダンスを続けたい気持ちは強かったものの、ダンサーとして生活していくこと、ダンスを続けることは切り離してとらえていました。そのため、漠然と将来は研究者か教員かなと思い、大学院へ進みました。

—では、その後、ダンサーとしてやっていこうと思えるような転機があったのでしょうか？

その頃からオーディションを受けたりする中で刺激的なダンサーや振付家の方々と出会い、作品にも出演させてもらうようになっていました。そんな中、2018年に振付家・黒田育世さんの作品『ラストパイ』（初演2005「Triple Bill」）に出演させてもらいました。ちょうど「そろそろダンスもひと区切りしないといけないな」と悩んでいた時期でした。公演終了後、黒田さんにその気持ちを打ち明けたところ、「何言ってるの、踊りなさい」と。そのひと言で「ああ、踊りたいという気持ちを肯定していいんだ」と思えたんです。今振り返るとあの言葉が転機だった気がします。

中学時代、度肝を抜かれた憧れのNoismに入ること

—Noismへはどのようなきっかけで入ることになったのでしょうか？

中学生の時、Noism2の『火の鳥』を観ました。人生初のコンテンポラリーダンスでした。自分がふだん練習しているダンスとは明らかに違うことに驚いて「人を持ち上げる動作が軽やかすぎて無重力かと思った」「肉体を突き詰めるところなるんだ」など感想を書きまくるほど感動。それ以降、何度も観に行きました。

2019年に開催されたコンクール「ワールドダンスコンペティションinニイガタ」に応募したのも、審査員の一人にNoismの芸術総監督・金森穰さんの名前があったからです。そこでNoism賞をいただきました。その直後からコロナ禍になってしまったので東京から実家に戻ったのですが、そのタイミングでオーディションを受け、Noism1に準メンバーとして加えていただくことになりました。それが2020年9月です。翌年、正式メンバーになりました。

—憧れのダンス・カンパニーの一員となり、当初はどんなお気持ちでしたか？

最初は自分がどこまでNoismで通用するか不安でした。ただ、それ以上に今のNoismを創っていく一人として頑張ろうという気持ちは強かったです。

—Noismに入って今年で5年目。いかがですか？

朝から晩まで1日中、稽古ができて充実しています。Noismには「Noismメソッド」という独自のトレーニングがあり、共通言語が備わっています。メンバー全員がこの共通言語による体の動かし方、舞踊の世界観を持ちあわせているからこそ、集団でより精度の高い、研ぎ澄まされた作品を創り上げることができる。それがまさにNoismの真の魅力。私がこのカンパニーに惹かれるところでもあります。

—Noism芸術総監督、金森さんから学んでいることは？

舞踊は自分たちの存在意義や、舞台芸術の意義を強く発信し続けないとすぐに消えてしまうほど日本では根づきにくい芸術文化。にもかかわらず、穰さんは日本で唯一、劇場専属の舞踊団を20年も続けている。そのエネルギーと志の強さを本当に尊敬しています。この5年間で穰さんから学んだことは、世界に目を向けて高い志を持つということ。舞踊家として「自分はここに在る」という意志を体で示していこうと思っています。

—3月8日、9日、りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館で「Noism2 定期公演vol.16」の公演では樋浦さんが振付を担当する演目『とぎれとぎれに』が上演されます。これが振付家としてのデビューになるそうですね。

そうなんです。振付は舞踊家とは違ったチャンネルだと実感しているところです。Noism2（研修生カンパニー）は、情熱の塊みたいなメンバーなので楽しい。何より自分のイメージしていたことが稽古を重ねるたびに目の前に現れ始めるのはワクワクしました。舞踊ってかたちには残らないものです。Noism2のメンバーと共有する一瞬一瞬を味わいながら作り上げた新作が、観ていただくお客様の体に何かが刻まれる体験につながったら嬉しいです。

研修生の定期公演で振付家デビュー

—お話をうかがっていると心底Noismが好きで、ダンスが好きなのが伝わってきます。そんな樋浦さんにとってダンスの真の魅力とは？

自分ではないものになれること。でも、芸術として磨き上げていくには自分と向き合い続けなければいけない。その両面を意識して稽古すると今度は自分が知らない自分に出会えたりする。そんなところが魅力なんだと思います。



ます。とはいえ、まだまだ未熟なので、Noismで舞踊を磨いて極めたい。振付に関してどんな表現ができるか突き詰めていきたいです。

一では最後に舞踊家として大切にしていることを教えてください。

稽古も本番も関係なく、その一瞬一瞬をしっかり味わうことです。絶対、その瞬間は戻ってこないのです。苦しいこともたくさんあるし、自分の欠点や弱みと向き合い続けなければいけない仕事ですが、舞台上で出会える景色は本当に格別なんです。その一瞬のご褒美のためにまだまだ頑張っ磨き続けたいと考えています。

Question&Answer

Q.どんな子どもでしたか？

兄妹と一緒によく外で遊んでいました。元気いっぱいな子どもだったと思います。

Q.今、ハマっているものは？

ラグビー観戦です。一昨年、フランスで開催された「ラグビーワールドカップ2023」を観てハマりました。全力でタックルするのに相手にケガをさせないし、自分もケガしない。独自の体術、戦術、ノーサイドの精神が魅力です。

Q.好きな小説や映画は？

星野道夫さんの『旅をする木』が好きです。アラスカの雄大な自然に出会った時の体の感覚、時間の流れ方、命に対する考え方などが味わい深い文章で綴られていて、読むたびに発見があります。

Q.リラックスするのはどんな時？

お蕎麦が好きでよく食べに行くのですが、最後にそば湯を飲むとすごく落ち着きます。至福のひとつです。

Q.新潟で好きな場所は？

新潟市の海近くにある、たこ公園(正式名:関分記念公園)。子どもの頃からよく遊びに行っている場所です。夜行くと、展望台からキラキラ光り輝く新潟市内の夜景が楽しめます。

Q.自分が新潟県人だなと思うところは？

雪も雨も降っていなければ、天気は「晴れ」と見なす感覚でしょうか。Noismの関東や関西出身の仲間には「どう見ても曇りでしょう」と言われてしまうのですが(笑)。



<Profile>

ひうら あきら
樋浦 瞳

1995年、新潟市生まれ。五十嵐瑠美子・五十嵐生野にモダンダンスを師事。新潟明訓高校

ダンス部で活動後、筑波大学体育専門学群にて平山素子に師事。卒業後、天使館にて笠井叡に師事。これまでに池田扶美代、梅田宏明、黒田育世、山田うん、島地保武、柿崎麻莉子らの振付作品に出演。2019年、「ワールドダンスコンペティション in ニイガタ」に出演し、Noism賞を受賞。20年9月よりNoism1準メンバー、21年9月よりNoism1に所属。これまでのNoism公演の出演作品に、『セレネ、あるいはマレピトの歌』(23)、『Floating Field』(23)、『セレネ、あるいは黄昏の歌』(24)、『Amomentof』(24)、『過ぎゆく時の中で』(24・再演)、『にんげんしかく』(24)などがある。

イベント情報

Noism2 定期公演 vol.16

新たな舞踊家・振付家がここから生まれる

Noism2は、りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館を拠点に活動するNoism Company Niigataの研修生カンパニー。今回の定期公演ではNoism芸術総監督・金森稯さんがNoism2のために振付した作品『火の鳥』と、Noism1メンバー中尾洗太さんと樋浦瞳さんが演出振付を手がける新作2本の計3作品を上演します。『火の鳥』は2011年の初演から再演を重ねているNoism2の代表作。そして中尾さんは新作『It walks by night』、今回が振付家デビューとなる樋浦さんは新作『とぎれとぎれに』で挑みます。若い二人が引き出すNoism2の新たな魅力にもどうぞ期待！

2025年3月8日(土) 17:00 3月9日(日) 15:00
りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館 劇場

【全席指定】 一般:2,500円 U25(25歳以下):2,000円
高校生以下:1,000円 ※未就学児の入場はご遠慮ください。
りゅーとびあチケット専用ダイヤル Tel.025-224-5521

管弦楽

ステージ

出演者 新潟A・フィルハーモニック

日時 令和6年11月9日(土)

第1部 11:00~12:00

第2部 14:00~15:00

会場 聖籠町文化会館

(北蒲原郡聖籠町大字諏訪山1280番地)

アウトリーチ(出前授業)

8月29日(木) 長岡市立関原小学校

9月11日(水) 長岡市立深沢小学校、

聖籠町立山倉小学校

・楽器の特性等を実演とトークで解説

・演奏に合わせて校歌を合唱



新潟にゆかりのある演奏家で編成された新潟A・フィルハーモニックが出演し、クラシック音楽をはじめ、ゲーム、映画、アニメなどで親しまれている人気の楽曲等を演奏しました。こどもたちは、楽器が奏でる美しい音色だけでなく、心を惹きつける迫力のある歌声や、心を和ませる軽快な進行に、大いに盛り上がりました。



新潟県文化祭2024

「こども文化芸術体験ステージ」を開催しました

こどもたちの豊かな感性や創造性等を育むとともに、文化芸術に興味・関心を持ってもらうため、

新潟県を拠点に活動する文化芸術団体の舞台公演を2会場で開催しました。

また、本公演前には、県内小学校で出演者によるアウトリーチ(出前授業)を行いました。



舞踊

ステージ

出演者 Noism2

日時 令和6年11月23日(土・祝)

第1部 11:00~12:00

第2部 14:00~15:00

会場 越後妻有文化ホール「段十ろう」

(十日町市本町一丁目上508番地2)

アウトリーチ(出前授業)

10月3日(木) 十日町市立田沢小学校

10月4日(金) 上越市立戸野目小学校、

上越市立谷浜小学校

・「感じる、繋がる」をテーマに、一緒に「からだ」で遊ぶ

・本公演で上演する『砕波』の上演



りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館を拠点に活動する専属舞踊団Noism Company Niigataの研修生カンパニー、Noism2が出演し、『火の鳥』というストラヴィンスキーの名曲に基づいた作品や、日本海の波の動きや新潟の情景を表現した『砕波』という演目を披露しました。9人の息の合った躍動感あふれるパフォーマンスと力強い音楽が融合した作品に、多くの来場者が魅了されました。

EVENT

新潟イベント情報

県内で行われる様々な催物情報をお届けします。
会場に足を踏み入れると、そこは別世界。是非、体感してみてください。

- コンサート
- ミュージカル・演劇・舞踊
- 古典・伝統
- 美術展
- その他イベント
- 県主催
- 県民文化活動推進事業
- 保育ルーム (託児あり)

※未就学児は入場不可の場合があります。
 の公演には託児室を設置します。(要予約)
 ※2月上旬の情報です。詳細については、
各問合せ先へご確認ください。

ホームページ「新潟文化物語」にも各種催物情報を掲載しています。
掲載をご希望の方はホームページ上から登録をお願いします。

新潟文化物語



「新潟イベント情報」への掲載をご希望の方は、下記までご連絡ください。次号vol.123は6月25日発行予定です。

お問い合わせ

新潟県文化課「カルチャーにいがた」係

Tel 025-280-5139 メール ngt150030@pref.niigata.lg.jp

3/9日 14:00

加茂文化会館 大ホール

新潟シンフォニエッタTOKIメンバーによる 春一番 弦楽四重奏の調べがはこぶ とびっきりの音楽会

文化庁 劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業を受け、小学1年生から18歳以下の子供200名を無料招待します。お子さまの人数により、同行する保護者の一部は半額でご覧いただけます。

出演：鍵富弦太郎 (Vn)、平山真紀子 (Vn)、齋宗法子 (Vla)、上森祥平 (Vc)
 曲目：モーツァルト / 弦楽四重奏曲第14番ト長調 K.387「春」、グラスノフ / 弦楽四重奏のための5つのノヴェルlette作品15、ドヴォルザーク / 弦楽四重奏曲第12番ヘ長調作品96「アメリカ」他



【全席自由】一般：3,800円 子供招待：小学1年生～18歳以下(先着200名)
 同行保護者の一部：1,900円(先着100名) ※未就学児の入場はご遠慮ください。

加茂文化会館 Tel.0256-53-0842

【主催】加茂文化会館

3/16日 14:00

上越文化会館 大ホール

上越交響楽団 第90回定期演奏会



団員達がやりたい曲をならべていったら、ちょっと不思議なプログラムになりました。是非、お楽しみ頂けたらと思い、皆様のお越しをお待ちしております。

曲目：モーツァルト / 交響曲 第35番 二長調「ハフナー」、ポロディン / 歌劇「イーゴリ公」よりダッタン人の娘の踊り〜ダッタン人の踊り、ケテルビー / ベルジャの市場にて、ポロディン / 交響曲第2番 口短調

【全席自由】一般：1,000円 高校生以下：無料
 ※車椅子等、介助が必要な方は事前にご連絡ください。

上越交響楽団 Tel.090-1606-1254 (事務局・茨木)
<https://www.joetsuso.info/>

【主催】上越交響楽団

3/22土 14:00

五泉市さくらんど会館

高木竜馬 ベーゼンドルファーピアノコンサート

グリーグ国際コンクールで優勝・聴衆賞を受賞、世界が認める若手ピアニスト高木竜馬。卓越した演奏力と豊かな表現で奏でられる美しい演奏を、ベーゼンドルファー290インベリアル音色でぜひ堪能ください。

出演：高木竜馬 (ピアノ)
 曲目：パッハ=ジロティ/前奏曲 口短調、ショパン/幻想即興曲 作品66、ラフマニノフ/前奏曲 ト短調 作品23-5、パッハ=ブラームス/左手のためのシャコンヌ、ドビュッシー/前奏曲 第一集より「沈める寺」他



(C)Yuji Ueno

【全席指定】一般：五泉市民特別2,000円
 五泉市民以外2,500円(当日各500円増) 小・中学生：500円
 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

五泉市生涯学習課村松事務所
 Tel.0250-58-5082

【主催】五泉市教育委員会

3/23日 14:00

三条市中央公民館

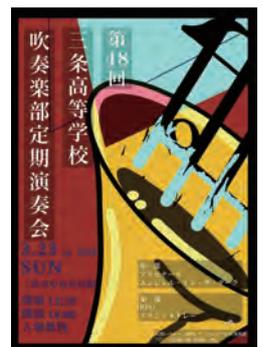
新潟県立三条高等学校吹奏楽部 第48回定期演奏会

三条高校の吹奏楽部は1、2年生のみで活動しております。夏の県大会では金賞、アンサンブルコンテストでは出場2チームとも金賞を受賞。この定演は2年生部員の高校ラストステージです。誇りをもって演奏します。

曲目：【第1部】アルセナール、梁塵秘抄 エンジェル・イン・ザ・ダーク(令和6年度 大会演奏曲)
 【第2部】RPG アラジン・メドレー 他

【全席無料】

新潟県立三条高等学校
 Tel.0256-35-5500



【主催】新潟県立三条高等学校

新潟公演

東京公演

3/30日・5/6火 振休

だいしほくえつホール 14:00 中目黒GTホール 13:30

片岡菜納子&倉田ゆかり Joint Concert Vol.3

東京音大の付属高校から10年以上の付き合いとなる息の合った2人の演奏をお楽しみください。普段は聴くことができないピアノソロの作品から名曲のピアノ連弾まで盛りだくさんとなっています。

出演：片岡菜納子(ピアノ・新潟県出身)、倉田ゆかり(ピアノ)
曲目：【ソロ】F.リスト/巡礼の年 第3年より「エステ荘の噴水」、C.ドビュッシー/版画より「塔」
【連弾】J.シュトラウス2世/喜歌劇(こうもり)より序曲、M.ラヴェル/マ・メール・ロア C.サン=サーンス/動物の謝肉祭(抜粋)



【全席自由】
〈新潟公演〉一般：2,000円 子ども・学生：500円(当日各500円増)
〈東京公演〉一般：3,500円 子ども・学生：2,000円(当日各500円増)

片岡菜納子&倉田ゆかり Joint Concert 実行委員会
メール：piano.concert.musica@gmail.com

【主催】片岡菜納子&倉田ゆかり Joint Concert 実行委員会

新潟テルサ

4/6日 ①13:00 ②17:00

日中友好記念作品

舞劇 Dance Drama「朱鷺」

日中友好のシンボル、朱鷺を幻想的で美しい舞踊と衣装で表現します。日中共同制作で、本県での公演は2015年以来。パレエやコンテンポラリーダンスの身体表現を織り交ぜた舞台をお楽しみください。



舞劇「朱鷺」の一場面

【全席指定】10,000円 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

MIN-ONインフォメーションセンター Tel.03-3226-9999

【主催】新潟日報社、MIN-ON

第1回

第2回

第3回

4/12土 5/10土 6/14土

新潟教育会館 各回14:00

安吾の会2025読書会

講師

第1回 齋藤良助氏(安吾の会会員)
第2回 本多俊介氏(日本経済新聞社)
第3回 上田晃之氏(劇作家)

テーマは『坂口安吾と三島由紀夫<天皇陛下にささぐる言葉>と<英霊の声>の間で』。天皇がまっとうな人間になるところから日本は始まった安吾。それに対して三島は人間宣言をした天皇に対して呪詛の言葉を投げた。戦後を代表する二人の作家の天皇に対する見方の違いを浮き彫りにし、日本人の天皇に対する見方の本質に迫ります。ぜひご参加ください。



参加費：各回500円 安吾の会事務局(新潟・市民映画館シネ・ウインド内) Tel.025-243-5530

【主催】安吾の会

りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館 能楽堂

4/19土 13:00

【能で味わう世界遺産 その壱】 春の能楽鑑賞会(観世流)

～芸術の源泉・富士山～

能で出会う、世界遺産の舞台。世界遺産「富士山―信仰の対象と芸術の源泉」の三保松原を舞台にした能「羽衣」を上演します。世界遺産ゆかりの舞台をユネスコ無形文化遺産・能楽でご堪能ください。解説は、新潟出身の芥川賞作家・藤沢周さんです。解説「不二の美に酔いしれて」藤沢周(作家) 狂言「茶壺(ちゃつぼ)」野村裕基 能「羽衣(はごもる)和合之舞」中村裕他



撮影：前島吉裕

【全席指定】5席：6,000円
A席：5,000円 B席：4,000円
U25(25歳以下・B席)：2,000円
※未就学児の入場はご遠慮ください。

りゅーとびあチケット専用ダイヤル Tel.025-224-5521

【主催】(公財)新潟市民芸術文化振興財団

4/19土 14:00

マルタケホール

Marutake-hall Concert

Nana Koma CONCERT Vol.2 箏とオーボエのハーモニーの世界へ

新潟中央高校音楽科、東京藝術大学で共に学んだ2人による箏とオーボエの異色のデュオ。日本の楽器(箏)と西洋の楽器(オーボエ)、この2つが重なりあうとどのような響きが生まれるのか。オリジナル曲からポップス曲まで、様々な音の世界へお連れします。

出演：箏&オーボエDuoななこま(高倉七虹：箏、古俣友緒：オーボエ)
曲目：中山晋平(作詞 北原白秋)/砂山、中島みゆき/糸、久石譲/海見える街(魔女の宅急便より)、三宅一徳/白日夢-箏とオーボエのための-他



【全席自由】1,500円(当日500円増) マルタケホール事務局 Tel.025-250-6128

※未就学児の入場はご遠慮ください。

【主催】マルタケホール

新発田市民文化会館

4/20日 14:00

地に足つける 母心 独演会2025

令和4年度花形演芸大賞金賞受賞! 皆様を笑顔にするのが僕らの仕事! 愛され漫才師・母心がお贈りする、爆笑ライブイベントです。

出演：母心(嶋川武秀<オカン>、関あつし)



【全席指定】3,000円 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

下越音楽鑑賞協会 Tel.0254-22-1404

【主催】下越音楽鑑賞協会

4/27日 14:00 長岡市立劇場 大ホール

第44回長岡少年少女合唱団定期演奏会

～春風にのせて子どもたちが贈るとっておきのハッピータイム～



春風にのせて、子どもたちの元気いっぱいな歌声をお届けします。

出演：長岡少年少女合唱団、中村美智子(指揮)、箕輪美帆(ピアノ)、さとうさちこ(振付)
曲目：作詩：やなせたかし 作曲：木下牧子/女声・同声合唱による10のメルヘン「愛する歌」より、
作詩：木島始 作曲：信長貴富/童声(女声)合唱とピアノのための「ひびかせうた」、Let's Go!
「ディズニーの歌の世界」へ、原作：あまんきみこ 構成・作詞：江藤康子 作曲：高山樗牛/児童合唱
組曲「ちいちゃんのかげおくり」他

¥ 入場無料 ※4歳未満の入場はご遠慮ください。 (公財)長岡市芸術文化振興財団 Tel.0258-29-7715

【主催】(公財)長岡市芸術文化振興財団、長岡少年少女合唱団

5/5月祝 19:00 りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館 コンサートホール

第15回新潟クラシックストリート スペシャルコンサート 「北区フィルハーモニー管弦楽団」

新潟市北区文化会館を本拠地として活動を続ける「北区フィルハーモニー管弦楽団」が初めてりゅーとぴあに登場。指揮は県内の演奏会に引っ張りでこの長谷川正規!



出演：長谷川正規(指揮・上越教育大准教授)、北区フィルハーモニー管弦楽団
曲目：シベリウス/フィンランディア、ベートーヴェン/交響曲第7番より 他

¥ 一日全会場フリーパス券 (2,000円)で入場可能 ※4歳未満の入場はご遠慮ください。 Jazz FLASH Tel.025-224-4518

【主催】NPO法人新潟ジャズストリート実行委員会

5/10土 14:00 長岡リリックホール コンサートホール

上妻宏光×LEO デュオ・リサイタル

日本を代表する三味線奏者 上妻宏光と、和楽器界の若き実力者として注目を集める箏アーティスト LEOによるデュオコンサート。世界から注目を浴び続ける二人の和楽器奏者が魅せる「新景色」をお見逃しなく。



出演：上妻宏光(津軽三味線)、LEO(箏)
曲目：こきりこ節、淡海節、十三の砂山、越天楽、竹田の子守歌、赤とんぼ、YMO/東風(Tong-Poo)、今野玲央/Clouds of Snow、上妻宏光/セゴビアの夜 他

¥ 【全席指定】一般：4,000円 U-25(25歳以下)：1,500円 (公財)長岡市芸術文化振興財団 Tel.0258-29-7715

※未就学児の入場はご遠慮ください。

【主催】(公財)長岡市芸術文化振興財団

5/18日 17:00 りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館 コンサートホール

東京交響楽団 第141回新潟定期演奏会

チェコ国民楽派の傑作 故郷を想い、故郷を讃えよ。下野竜也が振る《我が祖国》全曲演奏! 「モルダウ」など名旋律を壮大なオーケストラで! ※この公演には休憩がございません。(公演時間約80分)



出演：下野竜也(指揮)、東京交響楽団(管弦楽)
曲目：スメタナ/連作交響詩「我が祖国」I.ヴィシェヴァラド(高い城) II.フルタヴァ(モルダウ) III.シャルカ IV.ボヘミアの森と草原から V.ターボル VI.プラニーク

¥ 【全席指定】S席：6,500円 A席：5,000円 B席：3,500円 C席：2,500円 D席：1,500円 U25(25歳以下)：1,000円

※未就学児の入場はご遠慮ください。

下野竜也=©Nanako Ito

りゅーとぴあチケット専用ダイヤル Tel.025-224-5521

【主催】(公財)新潟市芸術文化振興財団、BSN新潟放送

6/1日 14:00 発売日▶3/23(日) 上越文化会館 大ホール

バリアフリー演劇 「Touch～孤独から愛へ」

アレルギーの発作で外に出られない弟フィリップと、不良の兄トリート。ある日、突然現れた謎の紳士ハロルドが彼らに手を差し伸べる。「孤児」である3人の出会いが、孤独を抱えながらも、新たな一歩を発見していく。



出演：東京演劇集団 風

¥ 【全席指定】一般：3,000円 学生・障がい者・介助の方(1名まで)：1,500円

上越文化会館 Tel.025-522-8800

【主催】上越文化会館

6/1日 14:00 発売日▶2/28(金) 柏崎市文化会館アルフォーレ

鼓童ワン・アース・ツアー2025 柏崎公演

4年ぶりの柏崎公演!進化を続ける鼓童がお届けする情熱あふれる伝統の演目・各地の芸能、新曲からなる構成。出演者の個性が織りなされ、紡ぎ出される舞台。このメンバーでしか生み出せない音と姿をご体感ください。



演出：前田順康
出演：太鼓芸能集団 鼓童(地代純、三浦康輝、鶴見龍馬、北林玲央、米山水木、三枝晴太、渡辺ちひろ、定成啓、新山萌、廣寄一馬 他)
演目：族、三宅、千里馬、屋台囃子、大太鼓 他

¥ 【全席指定】一般：6,500円 高校生以下：5,500円

※未就学児の入場はご遠慮ください。

柏崎市文化会館アルフォーレ Tel.0257-21-0010

宣伝美術：大橋修(thumb M) / 写真：岡本隆史

【主催】TeNYテレビ新潟

6/7^土 南魚沼市民会館 大ホール
14:00 発売日 ▶ 3/15(土)

橘光一 presents 第3弾!

ミュージカルフェスティバル☆~We go on!~



豪華実力派キャストによる、夢のミュージカルコンサート!エレクトーンのオーケストラサウンドをバックに大ヒットミュージカルの名曲の数々をお届けします!!

出演:橘光一(エレクトーン)、小西のりゆき、増原英也、関口三千香、武藤寛、古沢朋恵、藤田宏樹

¥ 【全席自由】一般:3,000円(当日500円増)
小中高生:1,000円 未就学児:無料

📞 南魚沼市民会館 Tel.025-773-5500

【主催】ミュージカルフェスティバル実行委員会、(公財)南魚沼市文化スポーツ振興公社

6/14^土 南魚沼市民会館 大ホール
14:00 発売日 ▶ 3/8(土)

スペシャル・ガラコンサート



湯沢町出身の日本オペラ界のトップを走るテノール歌手 笹田博昭と、美しい声で魅了するソプラニスタ 岡本知高、華やかさで力強いメゾソプラノ 清水華澄の3人が織りなすスペシャル・ガラコンサートを開催します。ここでしか聴けない歌声をぜひご堪能ください!!

出演: 笹田博昭(テノール)、岡本知高(ソプラニスタ)、清水華澄(メゾソプラノ)

¥ 【全席指定】6,000円
※未就学児の入場はご遠慮ください。

📞 南魚沼市民会館
Tel.025-773-5500

【主催】樹楽株式会社

3/6^木 → 3/9^日

NST新潟総合テレビ本社1階 NSTギャラリー 10:00~17:00
(最終日は16:00まで)

公募 第46回新潟県工芸会展

金工・陶芸・漆芸・染織・七宝などの工芸作品を展示。会員作品・賛助作品・公募作品を80点程度展示予定。公募の申し込みは、2月28日まで事務局へ。



¥ 観覧無料 📞 新潟県工芸会事務局
Tel.090-7242-1643(武藤)

【主催】新潟県工芸会

3/16^日まで

新潟県立近代美術館

9:00~17:00 (券売は16:30まで)
休館日:2/25、3/10

皇居三の丸尚蔵館収蔵品でたどる
日本の技と美

皇室の名宝と新潟

皇居三の丸尚蔵館の収蔵品から近世絵画の名品をはじめ、近代の油彩画や日本画、工芸品など約50件を展示し、皇室に伝わった名宝を通して日本美術の技と美の世界をご覧ください。

¥ 一般:1,400円
高校・大学生:1,000円
中学生以下:無料

📞 新潟県立近代美術館
Tel.0258-28-4111



国宝 伊藤若冲(動植綵絵 雪中錦鶏図)
江戸時代(18世紀) 皇居三の丸尚蔵館収蔵

【主催】新潟県立近代美術館、皇居三の丸尚蔵館

3/20^木祝まで

新潟県埋蔵文化財センター 9:00~17:00

2024年度企画展2

発掘!新潟の遺跡2024

(公財)新潟県埋蔵文化財調査事業団が実施した最新の発掘調査の成果を出土品や写真で解説します。縄文時代後期前葉(約4000年前)の県内では、最大クラスの遺跡である上野遺跡をはじめ、他に県内7遺跡の発掘成果を展示します。



村上市上野遺跡「縄文時代の注口土器」

¥ 観覧無料

📞 新潟県埋蔵文化財センター
Tel.0250-25-3981

関連イベント

●第28回遺跡発掘調査報告会
3/9(日)

【主催】新潟県埋蔵文化財センター

3/30^日まで

雪梁舎美術館 9:30~17:00 (券売は16:30まで)
休館日:月曜、2/25

収蔵作品
新潟の画家50人50展

当館の設立者である故・捧賢一が、長い年月をかけて収集した美術作品のなかから、新潟県出身・在住の作家に絞り、絵画のジャンルで構成します。新潟の画家50作家の50作品をお楽しみください。

¥ 一般:600円 中学生以下:無料

📞 雪梁舎美術館
Tel.025-377-1888



尾竹竹坡「母と子(真心)」

【主催】(公財)美術育成財団雪梁舎

5/31_土・6/1_日

奴奈川姫(めながわひめ)の家 10:00~16:00

第12回 古民家で野の花展

再生した古民家「奴奈川姫の家」(十日町市室野4505:室野集会所向かい)で毎年春と秋交互に野の花と古民具を用いた花展を行っています。今回はアザミやカキツバタ、ギボウシ、ユキツバキなどの花材を使用する予定です。どなたでも自由に古民家と野の花の展示を楽しむことができます。



ユキツバキ、ムシカリ

観覧無料

野の花を活ける会
Tel.090-5255-9699(岩田)

【主催】野の花を活ける会

3/25_火…6/8_日

新潟市新津美術館 10:00~17:00 (券売は16:30まで)
休館日:月曜(ただし4/28、5/5、6/2は開館)

new born 荒井良二 いつも しらないところへ たびするきぶんだった

国内外で高い評価を受ける荒井良二。絵画や絵本原画、新作の立体インスタレーションや愛蔵の小物たちを通して、作家の「いままで」と「これから」を紹介します。全国を旅する本展は、会場ごとに描き下ろしの新作が加わります。



(名前の知らないわたしと誰かが聞いている) 2023年 ©Arai Ryoji

関連イベント

●担当学芸員によるギャラリートーク
4/6(日)、5/17(土) 14:00~14:30、展示室、聴講無料
(要当日観覧券)、申込不要、託児あり(要問合せ)

一般:1,100円 高校・大学生:900円
中学生以下:無料

新潟市新津美術館
Tel.0250-25-1300

【主催】新潟市新津美術館、UXテレビ新潟21、朝日新聞社

4/19_土…6/8_日

新潟県立歴史博物館 9:30~17:00 (券売は16:30まで)
休館日:月曜(祝日野の場合、その翌平日)

令和7年度春季企画展 THE ANCIENT GLASS 古代ガラスの3つの軌跡

ガラスは富や権力を象徴し、暮らしを彩るものとして人びとを4000年以上魅了してきました。本展は古代ガラスの世界を地中海沿岸地域、西アジア、東アジアの3地域に分けその美と歴史の展開を紹介します。



鑄造ビーズ/ミューケナイ(ギリシア) 前14-前13世紀
公益財団法人平山郁夫シルクロード美術館蔵

関連イベント

●記念講演会「古代ガラスの輝き」
講師:宮下佐江子氏(国士館大学イラク古代文化研究所)
5/18(日) 13:30~15:00、講堂、聴講無料、要事前申込、定員150名

一般:840円 高校・大学生:600円 新潟県立歴史博物館
中学生以下:無料 Tel.0258-47-6130

【主催】新潟県立歴史博物館、新潟日報社、NST新潟総合テレビ

4/1_火…6/22_日

新潟市会津八一記念館 10:00~18:00 (券売は17:30まで)
休館日:月曜(ただし5/5は開館)、5/7

開館50周年記念 —コレクションでたどる— 会津八一記念館の半世紀

会津八一記念館「開館50周年記念企画展」と銘打ち、寄贈・寄託者ごとのコレクションとして、八一の墨蹟や交流のあった芸術家らの作品を展示します。また、八一旧蔵の恩師小泉八雲随筆の英文原稿を初公開します。



会津八一の養女蘭のコレクション・会津八一(秋神堂)

一般:500円 大学生:300円
高校生:200円 小・中学生:100円

新潟市会津八一記念館
Tel.025-282-7612

【主催】新潟市会津八一記念館

4/19_土…6/22_日

新潟県立万代島美術館 10:00~18:00 (券売は17:30まで)
休館日:4/21、5/12、5/26、6/9

junaida展「IMAGINARIUM」

『Michi』『の』『怪物園』(すべて福音館書店)など、近年出版した絵本がいずれも話題の画家、junaida(ジュナイダ)初の大規模個展です。400点超の作品により、空想世界の全貌をお楽しみください。



「IMAGINARIUM」(2022) ©junaida

一般:1,500円
高校・大学生:1,200円
中学生以下:無料
前売券[一般のみ]1,300円

新潟県立万代島美術館
Tel.025-290-6655

【主催】新潟県立万代島美術館、UX新潟テレビ21、junaida展新潟実行委員会

4/1_火…7/6_日

にいがた文化の記憶館

10:00~17:00 (券売は16:30まで)
休館日:月曜(ただし5/5は開館)、5/7

岩田正巳展 —日本画の新境地を開く—

三条市に生まれた日本画家・岩田正巳(1893-1988)は歴史物語などを題材とする大和絵に、現代の息吹を取り入れて、日本画の新境地を開きました。本展では小品を中心に、その画業を紹介します。

一般:500円 高校・大学生:300円
中学生以下:無料

にいがた文化の記憶館
Tel.025-250-7171



岩田正巳(ぶどう)制作年不明
新潟日報社蔵

【主催】にいがた文化の記憶館、新潟県、新潟日報社

こどもとワクワク・ドキドキを!! 親子で楽しむ

3/8土・3/9日

県主催

新潟県民会館

ヤホール(弥彦村 防災機能付き多目的施設)

各日 ①10:00 ②13:00 ③15:00
親子ペア20組 親子ペア20組 一般20名

出張! たたこう館

佐渡を拠点に国際的な活動を展開する「鼓童」。その鼓童が佐渡で運営するたたこう館(佐渡太鼓体験交流館)スタッフの指導による人気の太鼓体験を今年はヤホール(弥彦村)と新潟県民会館で出張開催します!



¥ 親子ペア:2,000円(保護者1名と年少~小学3年生までの子1名)
一般:1,500円(小学4年生以上)
※お申込方法は新潟県民会館HPまで。

新潟県民会館 Tel.025-228-4481

【主催】新潟県、(公財)新潟市芸術文化振興財団、弥彦村教育委員会(3/9) 令和6年度にいがた芸術・文化育成プロジェクト実行委員会

3/18火 18:30

新潟テルサ

劇団四季ファミリーミュージカル 「ガンバの大冒険」

主人公は、仲間の危機を救おうと自ら立ち上がるガンバ。躍動感いっぱいのダンスや、心が沸き立つ歌とともにガンバが伝えるのは、仲間と力を合わせて壁を乗り越えることの素晴らしさ。さあみんなで冒険に出発しよう。



撮影:樋口隆宏

¥ 【全席指定】一般:S席6,000円 A席4,000円
高校生以下:S席4,000円 A席3,000円
※3歳未満の入場はご遠慮ください。

新潟日報社読者局ふれあい事業部
Tel.025-385-7470

【主催】新潟日報社

4/13日 14:00

見附市文化ホール 大ホール

うらかな春空に響け 歌声!

アルカディア少年少女合唱団 スプリング キッズ ステージ

毎年恒例の春の定期演奏会です。今回は「空」をテーマに選曲しました。小学3年生から高校3年生の団員が声をひとつに合わせ、春空のように清々しいハーモニーをお届けします。



出演:アルカディア少年少女合唱団、吉成恭子(指揮)、土倉陽子(指揮)、関本智恵子(ピアノ)
曲目(予定):作詩:金子みすゞ 作曲:鈴木憲夫/同声(女声)のための合唱ファンタジー「みすゞのそら」より、作詞:やなせたかし 作曲:木下牧子/女声・同声合唱による10のメルヘン「愛する歌」より 他

¥ 【全席自由】500円(当日200円増)
※3歳未満の入場はご遠慮ください。

見附市文化ホール
Tel.0258-63-5321

【主催】見附市文化ホール

3/20木祝 → 5/11日

平日 9:30~16:30 土日祝 9:30~17:00

(券売は閉館の30分前まで) 休館日:4/8、15、22

新潟県立自然科学館

春の特別展

Mozuミニチュア展2025 ようこそ、ちいさな世界へ。

日常の風景をリアルに再現したミニチュア作品で注目のアーティストMozu。まるで部屋の片隅にこびとが住んでいるようなリアリティがある「こびとシリーズ」のほか、初公開の作品、トリックラックガキなどを展示。



©MOZU STUDIOS

¥ 一般:900円 小・中学生:600円
未就学児:無料

※未就学児の入場には、保護者の同伴が必要です。
※入館料(一般:580円、小・中学生:100円)が必要です。
※200円お得な前売券は、3/19(水)まで販売。

新潟県立自然科学館
Tel.025-283-3331

【主催】新潟県立自然科学館、UX新潟テレビ21

Culture
Niigata

●発行回数 年4回(5月、8月、11月、2月)

●発行部数 13,000部

●配布先 市町村、公民館、文化施設、大学等

●発行 新潟県 観光文化スポーツ部 文化課

TEL.025-280-5139

Mail.ngt150030@pref.niigata.lg.jp

2025年度 イベントのご案内

県内各地のホールで公演を実施する予定です。詳細は4月以降各開催館ホームページや、「カルチャーにいがた」6月25日発行号で順次お知らせします。

お問い合わせ

新潟県観光文化スポーツ部文化課
芸術文化振興室 Tel.025-280-5139

東京バレエ団 子どものためのバレエ 『ねむれる森の美女』

7月21日(月・祝) 新潟県民会館 大ホール

はじめてのバレエ鑑賞にオススメ!わかりやすい解説&楽しいお話つき!ご家族みんなで美しい音楽と夢の舞台をお楽しみください。4歳からご入場いただけます。



photo_Koujiro Yoshikawa

新潟県民オペラ イタリア語上演・日本語字幕付き プッチーニ作曲 歌劇 『トゥーランドット』 演奏会形式

10月5日(日)
柏崎市文化会館アルフォーレ

「誰も寝てはならぬ」で有名な『トゥーランドット』を上演。湯沢町出身のテノール 笛田博昭がカラフ役を演じます。7月13日には、さらに公演が楽しめるプレセミナーも実施します。



笛田博昭 (テノール) ©Takafumi Ueno

劇団四季ファミリーミュージカル 『カモメに飛ぶことを教えた猫』

10月19日(日)
妙高市文化ホール
10月25日(土)
長岡市立劇場 大ホール

猫とカモメの温かい心の交流を描いた劇団四季オリジナルファミリーミュージカル。勇気を持って一歩前にふみ出すことの大切さを教えてくれる心温まる物語を、ぜひ劇場で!



※写真はこれまでの公演より 撮影:上原タカシ

鼓童交流公演2025

6月20日(金) 津南町文化センター
9月20日(土) 長岡市寺泊文化センター

太鼓の魅力が五感で感じられる舞台。太鼓体験コーナーや楽しいトークが人気。



写真:岡本隆史

0歳からの音楽コンサート♪ 新日本フィルアンサンブル はじめての音楽会

9月15日(月・祝) 南魚沼市民会館

新日本フィルから音楽の贈りもの。新日本フィルメンバーによるアンサンブルとソプラノ歌手の競演!親子で気軽に楽しめる、0歳から聴ける演奏をお届けします。



0歳からの音楽コンサート♪ 奥村愛 クラシックミュージアム ～楽器のひみつ～

10月11日(土)
胎内市産業文化会館

こどもから大人まで楽しめるプログラム。入場無料で気軽に一流の音楽が楽しめます。



奥村愛 (ヴァイオリン) ©Toru Hasumi

牧阿佐美バレエ団 『くるみ割り人形』全幕

12月21日(日)
上越文化会館 大ホール

クリスマスプレゼントに“くるみ割り人形”をもらったクララ。真夜中になると人形が王子様に変身し、クララをお菓子の国へ案内します。幕開けから観客の心をつかむチャイコフスキーの音楽、雪の女王やお菓子の精たちが登場する舞台は、子どもから大人からまで楽しめるクリスマスにぴったりの物語です。



撮影:山廣康夫

カルチャーにいがた 特集 —シリーズ—

URAKATA

裏
方
語

舞台裏から、芸術の新たな魅力を発信!

新潟市北区文化会館館長 高坂 元己

舞台を製作しているのはアーティストだけではない。音楽・文化・芸術をもっと身近に感じてもらうため、ここでは裏方で活躍する人々をご紹介します。第35回は、新潟市北区文化会館の館長高坂元己さんに、館長という仕事について話を聞いた。



北区文化会館の音の良さを 広く知ってもらうために

北区役所・豊栄図書館の隣にガラス張りの開放感あふれる建物がある。北区の音楽・文化拠点、新潟市北区文化会館だ。客席数が557席のホールに加え、バレエや楽器の練習室4部屋、保育室を備えた施設となっている。

「開館は15年前の2010年6月です。いわゆる多目的ホールで市民の方々には発表会、演奏会、式典などに使っていただいています。現在は私を含めて計13名の職員で運営に携わっています」と快活な声で教えてくれたのは高坂元己さん。元新潟放送のアナウンサーという経歴の持ち主で、2020年4月からこの館長を務めている。

館長とは、館全体の管理運営を含めての責任者だ。本来であれば、設備関連の管理も業務になるのだが、そちらは今、副館長に任せているとのこと。その分、高坂さん自身は文化事業に力を注いでいる。

「文化事業は、鑑賞、創造、普及育成、交流発信の4つに分けて組み立てています。地元の人達に喜ばれ、且つ遠方からも来ていただけるような企画。それも北区文化会館ならではのものを仕上げるのが理想です。この業界の全国的な課題ですが、若年層の人達に人生を豊かにする文化芸術の大切さを分かってもらえるような企画を打ち続けたいですね」。予算が大

幅に削減されたこともあり、前年度より本数は減ってしまいましたが、それでも北区フィルハーモニー管弦楽団の「ファミリーコンサート」、そして北区内で活動する市民サークルの活動発表会「北区音楽祭」など毎年恒例の演奏会やイベントはほぼ実施できそうだと語る。「他にも『うまいもん夜市』などロビーを活用したイベントや、第一人者を招いて『宇宙人の探し方』というユニークな講演会も企画しています」。こんなふうに企画を立て、実施するまでの準備と運営などの業務はもちろん、宣伝活動にも積極的に取り組んでいる。「一昨年、東京混声合唱団の演奏会を企画したのですが、新潟市内のママさんコーラスのサークルを片っ端から調べてリスト化し、チケット発売前にチラシを持参してまわりました。ピアノのリサイタルの時もそう。市内のピアノ教室にチラシを持っていきましたね」

高坂さんがそこまでするのは、ひとえに一人でも多くの市民の方々に北区文化会館を知ってもらい、足を運んでもらいたいからなのだろう。

「館長は宣伝マン、が私の持論です。特にここは市内の中心部からやや離れているので、出向いて宣伝しないと認知してもらえないし、集客が難しい。ただ、一度来てもらえさえすれば、ホールの音響の良さを気に入ってもらえるはずなんです。かくいう私も館長になる前、クラシックコンサートで訪れてあまりにホールの音の響きが良くて感動し、ファンになった一人です。だから、合唱

館長は宣伝マン

ホールの音響の良さをアピールし、

人が集まる会館にしていきたい

サークルやピアノ教室の人たちであれば、必ずや北区文化会館を好きになって、次の発表会はここにしようと思ってくれるのではないかと。そんな淡い期待を持ちながらチラシを配っているわけです」

新潟放送のアナウンサーから 第二の人生で館長に

三条市に生まれ育った高坂さん。実家は魚ヤスを作る町工場。工業高校卒業後、家業を継ぐつもりで働いたが景気が悪くなり、仕事は激減。そこで家業を継ぐのを諦め、日本大学芸術学部放送学科へ進学する。

「日芸の放送学科といっても全然アナウンサー志望ではなかったんです。小学生の時からスピーカーの箱を作るのが趣味だったので音に関わる仕事がしたいと思って選んだ学科でした。ところが、文系学科なので音響を本格的に勉強することができず、仕方なく他の学科で音に関連する専門科目を受講し、卒業しました」

卒業後は、両親から勧められて入社試験を受けた新潟放送に就職。最初の配属はラジオ局制作部だった。「せっかくならラジオ番組の制作をしたいと思っていたので希望通りだったのですが、ラジオは取材、編集してそれを喋って伝えるという部署だったんです。当初喋ることが苦痛でした。ストレスで入社3カ月後、舌裏にポリープができたほどです。ただ、企画から取材して放送にいたるまですべてに関わるのが次第に

楽しくなっていました」。ラジオ制作部には9年在籍し、チャーリー高坂というマイクネームでラジオ番組を担当。アナウンス部に13年在籍した際には、ニュース番組のキャスターも務めている。

その後、さまざまな部署や役職を経験し、2017年に退職。そして20年4月から北区文化会館の館長に。ところがちょうどコロナ禍になってしまい、その年の事業計画はほぼ中止となってしまったそうだ。

「3年目ぐらいからですね、本格的に催しを企画して実施できるようになったのは。それまでは館の業務に関して職員にいろいろ教えてもらいました。自分がやりたいと思う企画がある時はどう説明したら事業担当の職員に承諾してもらえるかと考え、企画書を作ってそのつどメールで送るようにしました。どの企画も同じ職場の職員の同意と協力なくしては実施できません。特に最初の頃は私を信用してもらいたいという思いもあったので、何かをする際にはまずコンセンサスを得ることに心血を注ぎました」

北区吹奏楽団の講師の 素晴らしさを伝える演奏会

館長になって5年。この間にいくつもの事業を手がけてきたが、一番思い出深いのは2023年に実施した市民劇「もういちど会いたい～星空の約束～」だと語る。「たまたまラジオ放送で地元福島潟の妖怪伝説の話聴き、これをかたちにできないかと思ったのが発端でした。



まずは絵本にして読み聞かせの会を実施し、その後に地元北区の作家に原作と脚本を依頼。出演者を市民から募るオーディションを行って半年間の舞台稽古を経て上演しました」。高坂さんにとって演劇は未知の世界だったため、詳しい職員にいろいろ教えてもらって実現。5年以内に再演したいと考えるほど楽しかったという。

最後に、高坂さんに今の目標をうかがうと「例えば、クラシックの殿堂とか何かしら特色を持つ館にしたい。そのためにも引き続き、この館の魅力を伝えるために何ができるのか、どんな切り口がいいのかを考え企画し実施していこうと思っています。館長は宣伝マンだけでなく、プロデューサーでもあるんです」とのこと。

3月9日(日)に実施する「みんなで楽しむプラスアンサンブル」はまさに北区文化会館の魅力を発信するためのコンサートだ。

「北区ジュニア吹奏楽団は北区文化会館が主宰する団体なのですが、この団体の講師の先生方が指揮者含めて11名いらっしゃる。その先生方の演奏会になります。各楽器の専門家が子どもたちを指導している文化会館は全国でも珍しいと思いますよ。こんな先生に習ってみたいと思ってくれる子どもたちを増やせればと願っています」

とにかくアイデア満載。その源泉は朝のラジオと散歩からのインスピレーションなのだそう。そんな高坂さんが館長を務める北区文化会館で今後、どんな催しが繰り広げられていくか心待ちにしたい。

<プロフィール>

新潟市北区文化会館 館長
NPO法人新潟ジャズストリート実行委員会 理事長

こうさか もとみ
高坂 元己



1956年三条市生まれ。日本大学芸術学部放送学科卒業後、新潟放送入社。ラジオ局制作部に配属となって以降、アナウンスの現場に籍を置く。チャーリー高坂の名前で、ラジオ番組「チャーリー高坂のネクラでバンザイ」のパーソナリティーを務めるほか、いくつものレギュラー番組を担当。その後、編成局テレビCM部長、営業局次長、報道制作局次長、上越支社支社長、取締役ラジオ本部長などを経て2017年6月退職。2020年4月より現職。音楽が大好きでジャズヴォーカルとドイツリートが趣味。NPO法人新潟ジャズストリート実行委員会理事長も務めている。

公演情報

北区ジュニア吹奏楽団講師による
アンサンブルコンサート
みんなで楽しむプラスアンサンブル



新潟市北区文化会館主宰「北区ジュニア吹奏楽団」の講師の先生方が一堂に会してさまざまな編成のアンサンブルで吹奏楽のおもしろさ、音楽の楽しさを届けてくれるコンサートです。

3/9(日)14:00 北区文化会館 ホール
【全席自由】一般:1,000円、高校生以下:500円
※3歳未満は膝上鑑賞可(席が必要な場合は要チケット)
新潟市北区文化会館 Tel.025-388-6900

新潟の地域文化を紡ぎ繋げる

新潟文化物語

「新潟文化物語」は、過去と未来をつなぎ、新潟県の文化の魅力を発信する地域情報ポータルサイトです。

新潟文化物語

検索

<https://n-story.jp/>



▶新潟文化物語特集

▶文化体験レポート

NIIGATA STAGE CHANNEL



新潟県文化祭2024

新潟から世界へ「新潟の文化」を発信する

新潟ステージチャンネル

新潟県文化祭の公演動画や、公募による選出動画など、約550本の動画が視聴できます(2025年2月現在)。今後も新潟の芸術文化発信の“ステージ”として、新しい動画を配信します。

新潟県文化祭2024動画も順次配信

YouTube

今すぐチャンネル登録を!



新潟ステージチャンネル



県内の文化やイベント情報が盛りだくさん!

Culture Niigata

カルチャーにいがた

検索

設置場所

新潟県内の文化施設、金融機関、書店など



季刊誌
25日
無料配布

年4回
発行
(5、8、11、2月)